

(甲斐市立竜王南小) 学校 学校関係者評価書 (前期・後期)

平成22年7月16日(金)

第1回 学校関係者評価委員会

実施日:平成22年 7月16日(金)午後6時～

会 場:甲斐市立竜王南小学校第2図書室

参加者:学校関係者評価委員

※学校評議員 中島三郎 梶原照夫 込山伸一 長坂光彦(欠席)

※PTA 役員

会長 大木弘一 副会長 望月多美子 望月清美

※学校職員

校長 千野文雄 教頭 白倉三正 生徒指導主任 西川孝雄

I 学校側から提案された内容

- (1) 職員の不祥事についての謝罪及び信頼回復への協力要請
- (2) H21 前期自己評価及び児童アンケート結果と本年度との比較
 - ① 学校経営
 - ② 学習指導
 - ③ 生徒指導
 - ④ 家庭及び地域との連携
 - ⑤ 学校の特色
 - ⑥ その他

II 協議された主な内容

- (1) 学校経営及び運営について
- (2) 学習指導について
- (3) 生徒指導について
- (4) 保護者及び地域との連携について
- (5) その他

<学校関係者評価書>

I 全体評価

学校評価システムについての出席者の理解が図られていることを感じる。昨年度と本年度を比較することで項目内容について理解把握することが出来た点で評価したい。昨年度よりも改善された項目もあれば、同じ数値の項目もあった。昨年度比較で悪くなっている項目はなかったということは、全体として学校経営方針及び運営が健全にかつ地道になされているといえる。また、数値から肯定的な回答が多いということは、職員が学校経営、学校運営に積極的に参加しているという肯定感をもっているといえる。今後もさらなる学校改善に向けて職員一同努力していただきたい。

II 特徴

◇自己評価にかかわる結果から、職員の学校経営、学校運営への参画姿勢は、良好といえる。また、生徒指導については、職員一人ひとりが強い責任感と協調性をもって全職員体制で取り組もうとしていることが伺える。本校の特徴の一つである芝生の校庭を生かした取り組みが、校内研究との関わりの中で改めて始まろうとしている。これらの取り組みを通して学校力が更に高まるよう期待したい。

Ⅲ 今後の課題として意識されたいこと

- ・スポーツをしない子が多くなってきてはいないか、太り気味の子がいる反面筋肉質の子もいて2極化している。運動、スポーツを小学校生活で身に付けてほしい。(特に俊敏性、敏捷性、瞬発力など)
- ・野球、サッカーをする子はいるが、他の運動やスポーツをする子が少ない。いろいろな運動に親しませてほしい。
- ・下校時、通学路と違う道を歩いている子がいる。ルールを守らせるよう指導してほしい。
- ・長寿会へのお手紙の内容は、子ども自身が考えた招待の文であってほしい。国語の勉強としてこれほど大切な学習はないと思う。また、手紙をいただければ、返事を書きたい。交流を楽しみにしているお年寄りも多い。
- ・言葉遣いについて、使い方を知らない子が多い。テレビの影響が大きい。昔は、国語の勉強といえば、暗記(詩、歌、物語など)暗唱など、万葉集や宮沢賢治の世界に浸らせたい。文学を理解できる年齢、年代がある。そのためにも暗記暗唱は大切。
- ・自転車の乗り方で危ない乗り方をしている子がいる。交通マナーを教えてほしい。
- ・グリーンカーテンに取り組んでいるが、子どもたちの感想に「きもい」とか書いてあったが、無知であることを非難するのではなく、しっかりと学習させたい。
- ・子どもたちの登下校時、あいさつをしてくれる子が多くなった。たいへんうれしい。
- ・また、登下校時の子どもたちの表情が明るくなってきたことが喜ばしい。これからも登下校の安全に協力したい。
- ・自己評価結果、児童アンケート結果の悪い項目について改善方策を考えて取り組んで行くと思うが、少しでもよくなるよう工夫してほしい。例えば、授業中の質問や発言などが少ないが、質問や発言が出来る授業を工夫してほしい。
- ・先生と子どもが感動を共有してもらいたい。どんな活動でもいいから
- ・共通の思い出をたくさん作ってもらいたい。それが、大人になってからその人の生き方につながってくる。

※特記事項

記載責任者(竜王南小学校 学校関係者評価委員会) 氏名:PTA 会長

大木 弘一 印